

2026年3月期 決算説明資料

東証スタンダード | 7991

マミヤ・オーピー株式会社

2026年5月13日



目次

- 01 — 事業内容
- 02 — 2026年3月期決算概要
- 03 — 配当について
- 04 — トピックス

事業内容



電子機器事業

遊技機周辺機器メーカーとして、アミューズメント業界のオピニオンリーダーとして業界全体の活性化・裾野拡大と健全な発展に貢献しています。

売上構成比率 **76.4%**



スポーツ事業

世界中のゴルフを愛する人々に技術と企画力を通して楽しさと感動を創出します。

売上構成比率 **22.5%**



不動産事業

居住・事業・医療・店舗の空間（不動産）提供ビジネスにプラスワンの付加価値を創出します。

売上構成比率 **1.1%**

※2026年3月期通期。

決算サマリー (2026年3月期)

安定的かつ持続的な成長を実現するため、以下の取組を推進し、さらなる企業価値向上を図ります。

- 高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供
- 顧客の抱える課題に対するソリューションの提案

売上高

208億円

紙幣識別機の改刷対応の特需が終息の影響を受けたことにより、前年同期を下回る結果となりました。

前年同期比 $\Delta 38.0\%$

営業利益

18.8億円

紙幣識別機の改刷対応の特需の終息による売上高の減少の影響を受けたことにより、前年同期を下回る結果となりました。

前年同期比 $\Delta 70.6\%$

セグメント別売上高

電子機器事業

159.5億円

前年同期比 $\Delta 40.4\%$

スマート遊技機用ユニットの売上は堅調に推移したものの、紙幣識別機の改刷対応の特需が終息の影響を受け、前年同期を下回りました。

スポーツ事業

47.0億円

前年同期比 $\Delta 13.0\%$

大手クラブメーカー向けOEM生産の減少や、米国の関税政策、製品価格の値上げによるゴルフ用品市場の低迷の影響を受け前年同期を下回りました。

不動産事業

2.3億円

前年同期比 $\Delta 84.6\%$

賃貸物件の収益安定化に取り組んだものの、当期においては大型の売却案件も無く、前年同期を下回りました。

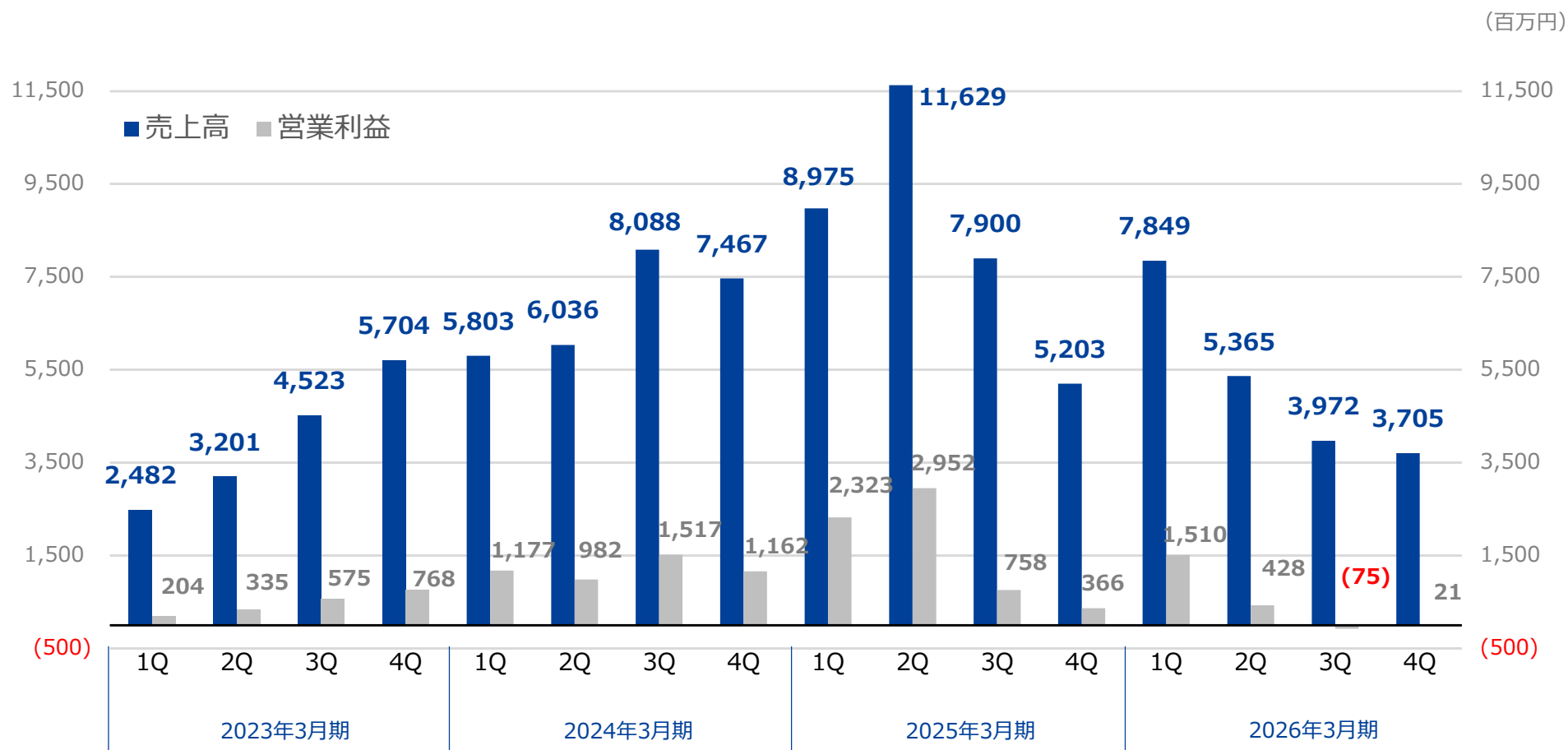
連結損益計算書 (P/L)

スマート遊技機用ユニットの売上は堅調に推移したものの、紙幣識別機の改刷対応の終息が大きく影響し、前年同期比を下回った着地となりました。

(百万円)	2025年3月期				2026年3月期				前年同期比率
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	
売上高	8,975	20,604	28,504	33,707	7,849	13,215	17,187	20,892	△38.0%
営業利益	2,323	5,275	6,033	6,399	1,510	1,983	1,862	1,883	△70.6%
経常利益	2,628	5,509	6,400	6,790	1,496	2,176	2,313	2,388	△64.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,873	3,934	4,384	4,718	1,060	1,572	1,649	1,712	△63.7%

売上高・営業利益の四半期推移

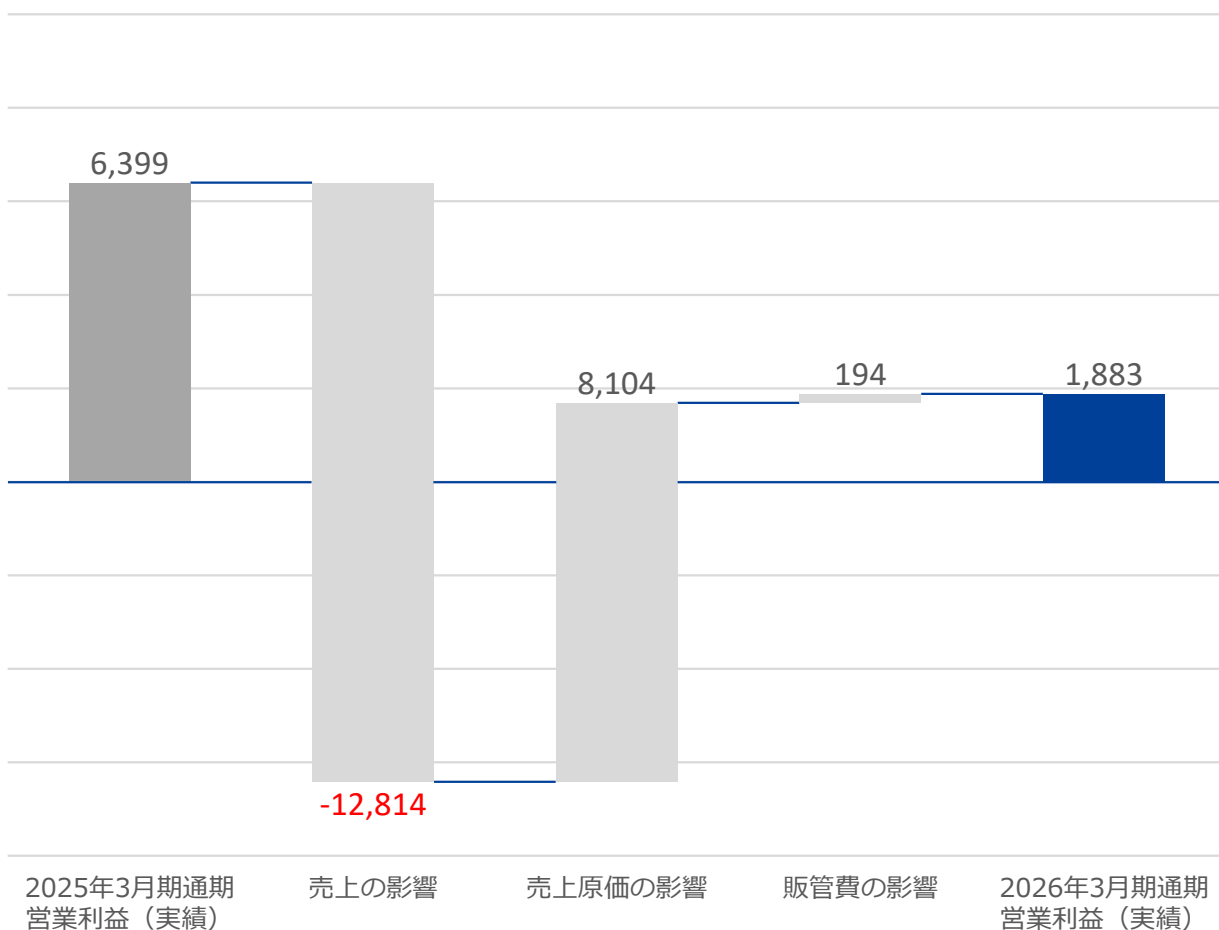
当期におきましては、スマート遊技機用ユニット売上は一定程度あったものの、下半期は落ち着いた推移となりました。



営業利益の増減要因

当期におきましては、売上高の減少が影響したことにより、前年同期と比べ、営業利益は45.1億円減少いたしました。

(百万円)



- 売上高は前年同期比で38.0%減少し、営業利益に128億円のマイナス影響を与えました。
- 売上原価は前年同期比で35.0%減少し、営業利益に81億円のプラスの影響を与えました。
- 販管費は前年同期比で4.7%減少し、営業利益に約2億円のプラスの影響を与えました。
- この結果、営業利益は45.1億円の減少となりました。

セグメント別状況

電子機器事業

紙幣識別機の改刷対応の終息の影響もあり、前期比40.4%の減少となりました。

スポーツ事業

大手クラブメーカー向けOEM生産の減少等の影響もあり、前期比13.0%の減少となりました。

不動産事業

今期においては大型の不動産売却がなかった影響もあり、前期比84.6%の減少となりました。

(百万円)	2025年3月期 第4四半期(3ヶ月)		2026年3月期 第4四半期(3ヶ月)		前年同期比増減		2025年3月期		2026年3月期		前年同期比増減	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	額	率 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	額	率 (%)
	電子機器事業	3,877	74.5	2,510	67.7	△1,366	△35.3	26,764	79.4	15,952	76.4	△10,811
スポーツ事業	1,283	24.7	1,121	30.3	△162	△12.6	5,405	16.0	4,703	22.5	△701	△13.0
不動産事業	42	0.8	73	2.0	31	73.9	1,540	4.6	237	1.1	△1,302	△84.6
合計	5,202	100.0	3,705	100.0	△1,497	△28.8	33,709	100.0	20,893	100.0	△12,816	△38.0

キャッシュフロー

売上高の減少により営業活動によるCFが、有形固定資産の取得により投資活動によるCFがそれぞれ減少し、現金及び現金同等物の期末残高は約35億円の減少となりました。

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比増減額
営業活動によるCF	6,678	△715	△7,394
投資活動によるCF	△1,632	△3,014	△1,381
財務活動によるCF	119	154	34
現金及び現金同等物の期首残高	8,166	13,401	5,235
現金及び現金同等物の期末残高	13,401	9,808	△3,593

連結貸借対照表 (B/S)

資産につきましては、売上債権の回収が進むとともに、不動産の購入が大きな影響を与えました。

負債・純資産につきましては、仕入債務の支払いが進むとともに、未払法人税等の減少が大きな影響を与えました。

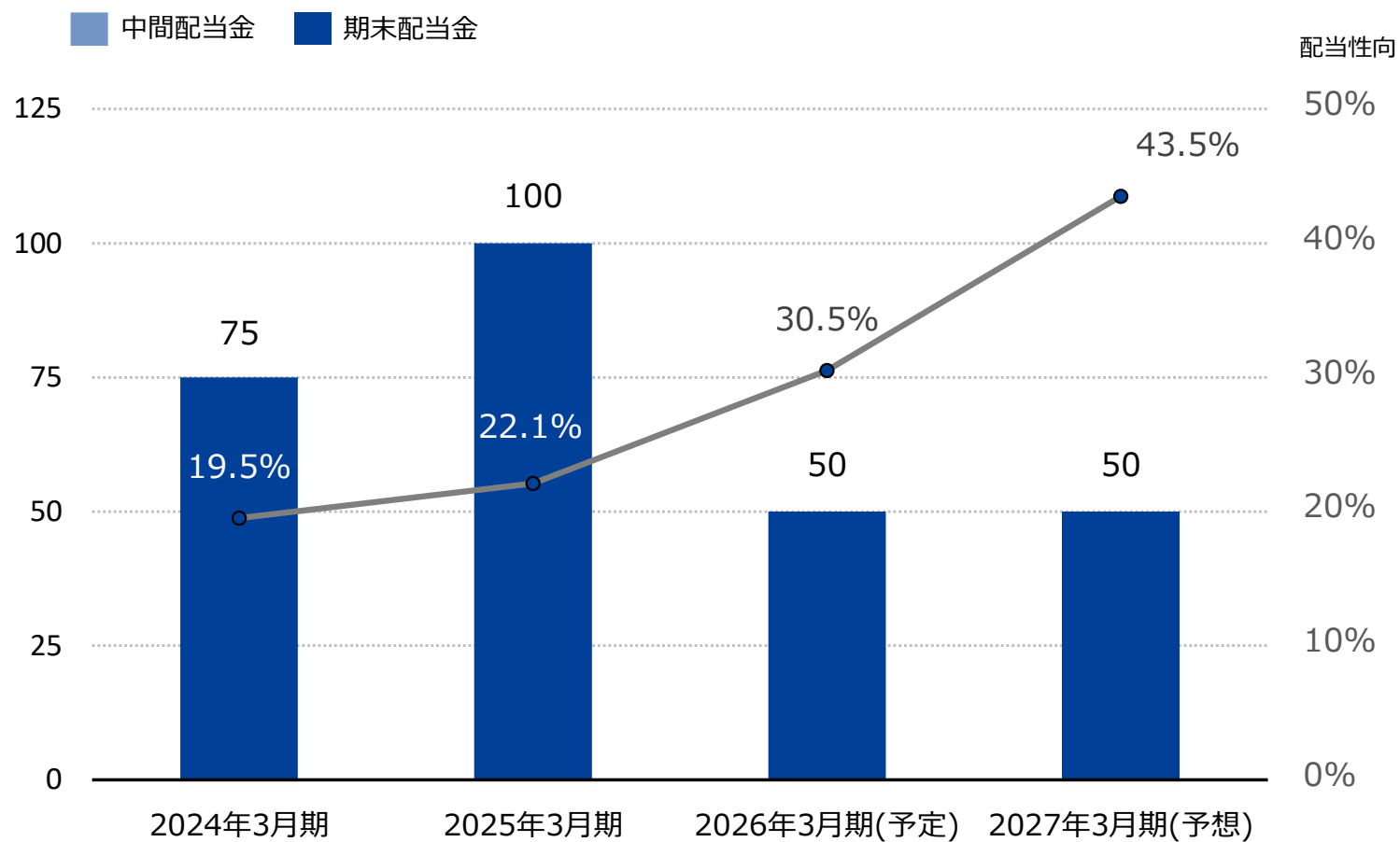
(百万円)

資産の部	2025年3月期	2026年3月期	増減
流動資産	26,490	22,248	△4,242
現金及び預金	14,238	10,342	△3,895
売上債権	4,980	3,964	△1,016
棚卸資産	6,974	6,828	△146
その他	296	1,112	815
固定資産	14,135	17,681	3,545
有形固定資産	5,698	8,802	3,103
建物及び構築物 (純額)	1,480	1,764	283
その他	954	1,659	705
土地	3,263	5,378	2,114
無形固定資産	240	196	△44
投資その他の資産	8,195	8,681	485
資産合計	40,626	39,929	△696

負債・純資産の部	2025年3月期	2026年3月期	増減
流動負債	8,157	5,760	△2,396
仕入債務	3,599	2,220	△1,378
短期借入金	305	400	95
1年内返済予定の長期借入金	1,883	2,318	435
その他	2,369	821	△1,548
固定負債	7,348	8,051	703
長期借入金	4,804	5,473	669
その他	2,544	2,578	34
負債合計	15,505	13,812	△1,693
株主資本	23,005	23,673	667
その他の包括利益累計額	2,057	2,372	315
新株予約権	47	60	13
非支配株主持分	10	10	0
純資産合計	25,120	26,117	996
負債純資産合計	40,626	39,929	△696

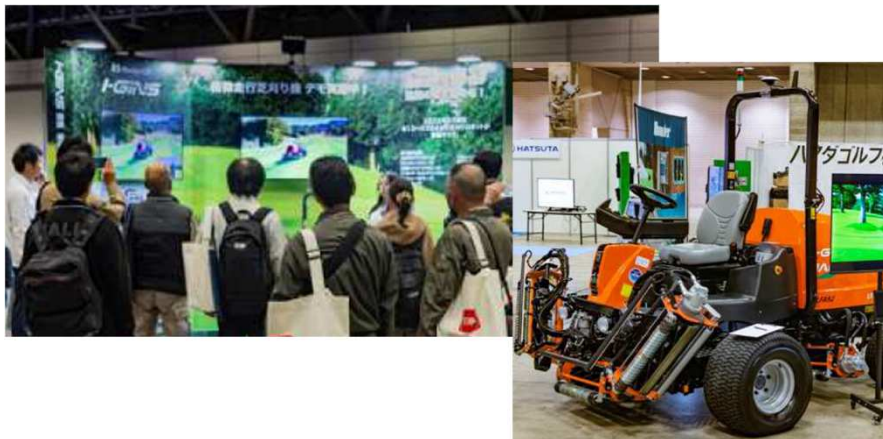
配当金の推移

2026年3月期における配当は、50円を予定しております。



トピックス

2025ジャパントーフショー出展



2025年11月6日（木）、11月7日（金）幕張メッセにて「2025ジャパントーフショー」に出展いたしました。このイベントでは多くのゴルフ場関係者が来場し、2日間で約4,500人の来場者数となりました。

今回、新たな試みとして、会場である“幕張メッセ”と実際の“ゴルフ場”を繋ぎ、「I-GINS搭載自動芝刈り機の走行デモ」を実況中継する業界初の試みに挑戦しました。

遠く離れたゴルフ場にある自動芝刈り機を、スマホを使用して遠隔操作で動かすことで、マミヤ・オーピーの技術力の高さを感じ取って頂けたと自負しております。

終日たくさんのお客様にブースに足を運んでいただき、イベントは大盛況となりました。

緊急輸入!! LIN-Q PowerCore BLUE発売



UST Mamiya Japan株式会社は、新たに「LIN-Q PowerCore BLUE」を発売いたしました。

世界のトッププレイヤーのパフォーマンス向上のために設計されたLIN-Qシリーズに新テクノロジーを搭載することで、LIN-Q EXシリーズよりさらに打ちやすく、安定性を向上させました。

パワーコアは独自のQ-Ply素材×ナノレジジンシステムにより余分なシャフトの変形を抑制することで全体がしなやかにしなり戻り、打感が良くなります。さらにエネルギーロスが少なくなるため、スイングパワーを最大効率でボールへ伝えることを可能にしました。

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

マミヤ・オーピー株式会社 総務部

TEL 03-6273-7360

URL <https://www.mamiya-op.co.jp/ir/>